

# AOKI-HD、優待に妙味

## 利回り79% 内容多彩、世代超え好評

株主優待は自社商品・サービスや割引券などの金券類、地域の名産品などバラエティーに富むのが大きな魅力だ。その中身を金額換算した「株主優待利回り」に着目する個人投資家も多い。お徳感のある優待銘柄はどこか、野村インベスター・リレーションズ(野村IR)の協力のもとで利回りランキングを作成した。

### 金融商品・家族向け目立つ

「優待利回り」は株式優待の価値を数値化した待銘柄を探すための指標の購入金額に対する株主もので、還元率の高い優待銘柄の一つだ。計算式は「株

順位	銘柄	優待換算金額	優待利回り	主な優待内容
1	AOKIホールディングス	10万円	78.7%	グループ店割引券
2	SBIグローバルアセットマネジメント	2万8900	42.0	仮想通貨
3	楽天銀行	14万2500	24.9	金利優遇
4	ソースネクスト	2500	11.5	自社商品購入ポイント
5	空港施設	5000	8.1	食事券
6	メニコン	1万	8.0	自社商品
7	ワタミ	8000	7.5	食事券
8	日神グループホールディングス	4000	7.3	マンション割引券
9	ペルーナ	6000	6.3	通信販売割引券
10	シュッピン	5000	5.1	商品割引券
11	大成建設	3万4000	5.1	ゴルフ場割引券
12	三井松島ホールディングス	1万8500	4.4	買い物割引券
13	カッパ・クリエイト	6000	4.0	食事ポイント
14	おきなわフィナンシャルグループ	1万	3.9	金利優遇
15	リソルホールディングス	2万	3.6	施設利用券
16	ヤマダホールディングス	1500	3.5	買い物割引券
17	コタ	5000	3.3	自社製品
18	上新電機	7200	3.2	買い物割引券
19	早稲田アカデミー	6000	3.0	クオカード
20	力の源ホールディングス	4000	2.9	食事券

(注)野村IRのデータを基に日経が参照作成。7日終値時点

### 令和の株主優待

主優待の換算額+投資金額×100で求められる。数値が高いほど投資妙味があるといえる。

野村IRが優待制度を実施している1530銘柄のうち金額換算可能な721銘柄について集計した。そのデータを基に、3月に優待の権利確定日を設定する東証プライム銘柄に絞り、日本経済新聞社が7日時点の株価から独自にランキングを作成した。

ランキング首位は紳士服専門店大手のAOKIホールディングスだ。優待の内容には、主力の「AOKI」や若者向け店舗「ORIHICA(オリヒカ)」、グループ傘下のカラオケ店や結婚式場などで使える割引券がある。保有株数により割引券の使用回数も異なる。

「ビジネスや日常の娯楽、入学・結婚といった人生の節目など、多彩なシーンで利用できる幅広い世代に人気(同社)といい、利回りは驚異の79%だ。

2位は投資信託の格付け評価などを手掛けるSBIグローバルアセットマネジメントで42%に達した。2500円相当の暗号資産(仮想通貨)リップル(XRP)などを提供する。3位の楽天銀行や14位のおきなわフィナンシャルグループなどが、銀行では預金金利の優遇や金融商品の契約時のキャッシュバックが多い。

家族向け優待も目立つ。ホテルやゴルフ場を運営するリソルホールディングスでは、同社施設で利用可能な「RESOLFファミリー商品券」を提供。進学塾の早稲田アカデミーは、9月末を基準日とする中間期に入塾金や授業料として利用できる優待券、3月末の期末にクオカードを贈る。

鎌田旭昇、河井優香、今村桃子、越智小夏が担当しました。